

Convi.BASE事例紹介セミナー

データ連携で変わる棚卸し業務

Convi.BASE×固定資産管理システム



Convi.BASE

株式会社コンビベース



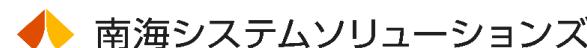


2005年1月に提供開始したあらゆるモノの管理を支援する物品管理クラウドサービスです。

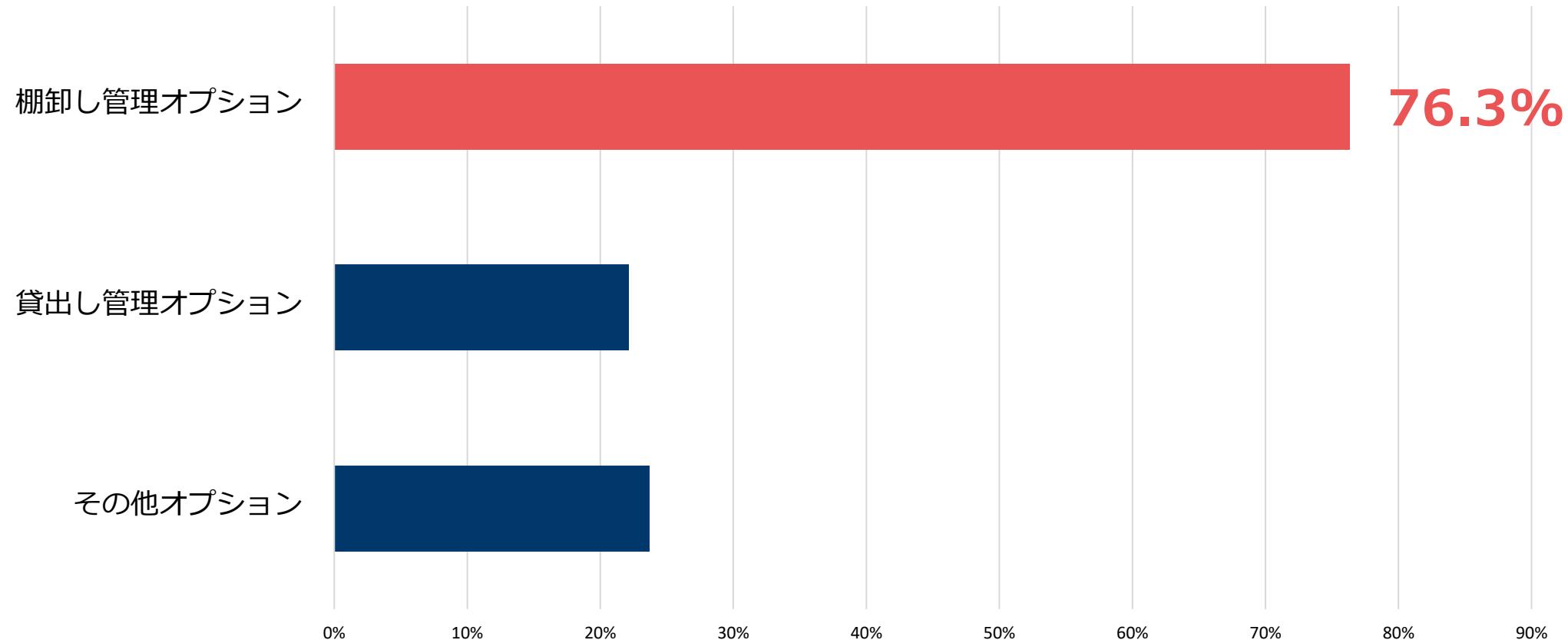
「面倒な棚卸しを楽にしたい」「物品の紛失が発生している」など、管理対象を問わず、あらゆる物品管理の「困った」を解決します。

導入社数は**1,200社**を超え、物品管理システムとして**導入実績No.1**※になりました。

導入企業（抜粋）



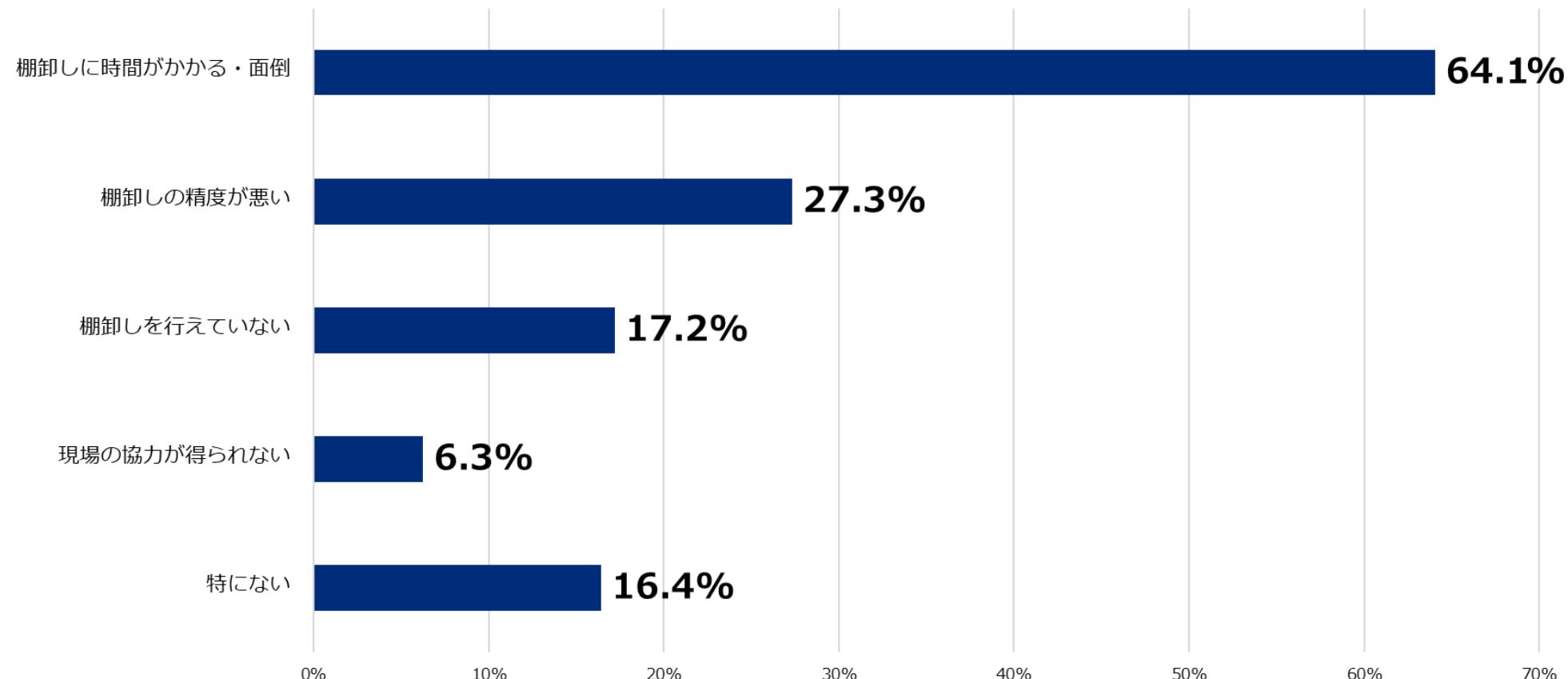
Convi.BASEのオプション契約率

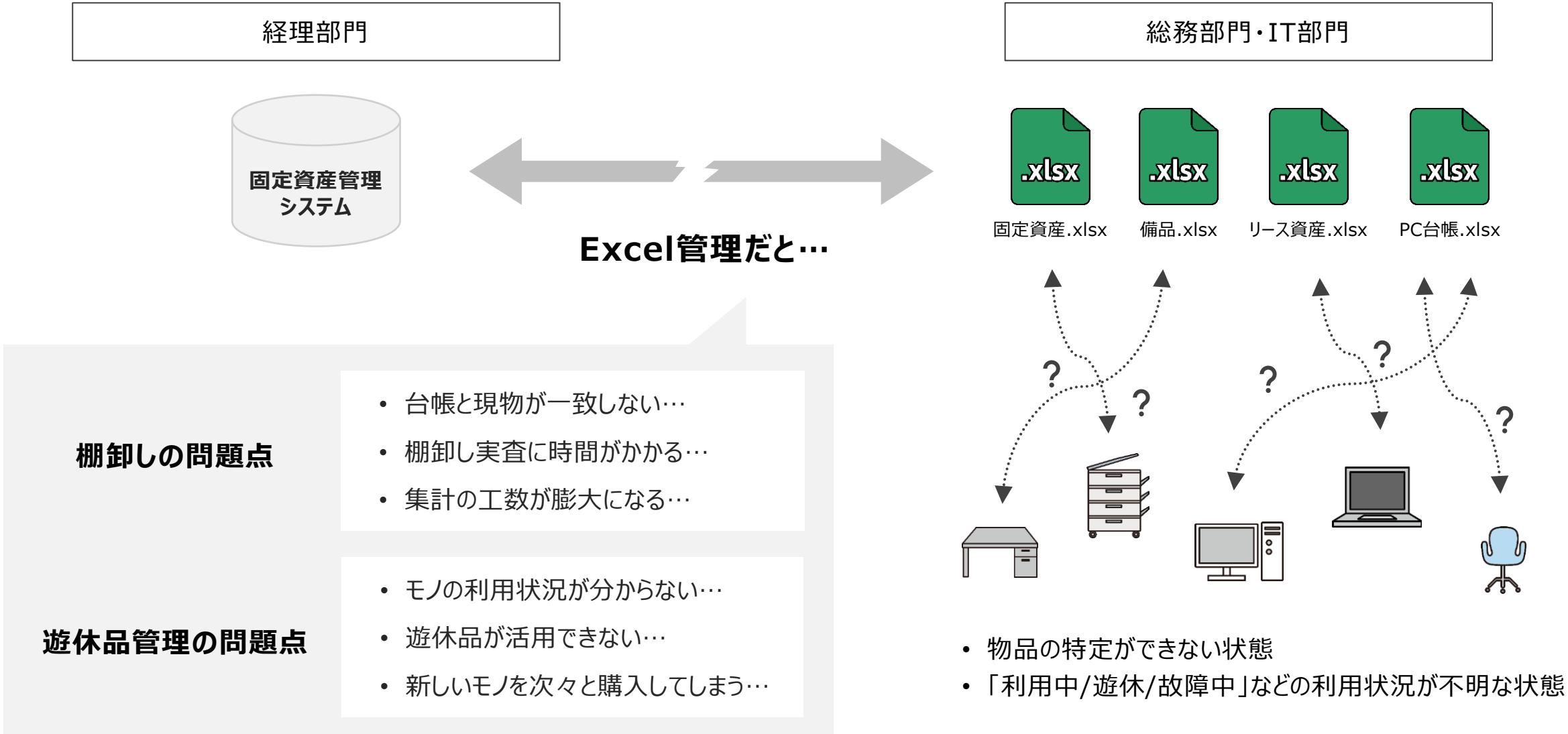


Q18. 固定資産物品の「棚卸し」について 課題と感じていることをお答えください

※複数回答

※現時点で棚卸しをしていない場合、
自社で棚卸しをした場合に課題となりそうなことをお答えください





①準備



- ・棚卸しリスト作成
- ・各現場へ棚卸しリストを配布

②現物確認（実査）



- ・印刷した紙リストを元に物品を照合
(2人1組で実施するケースが多い)

③集計・更新

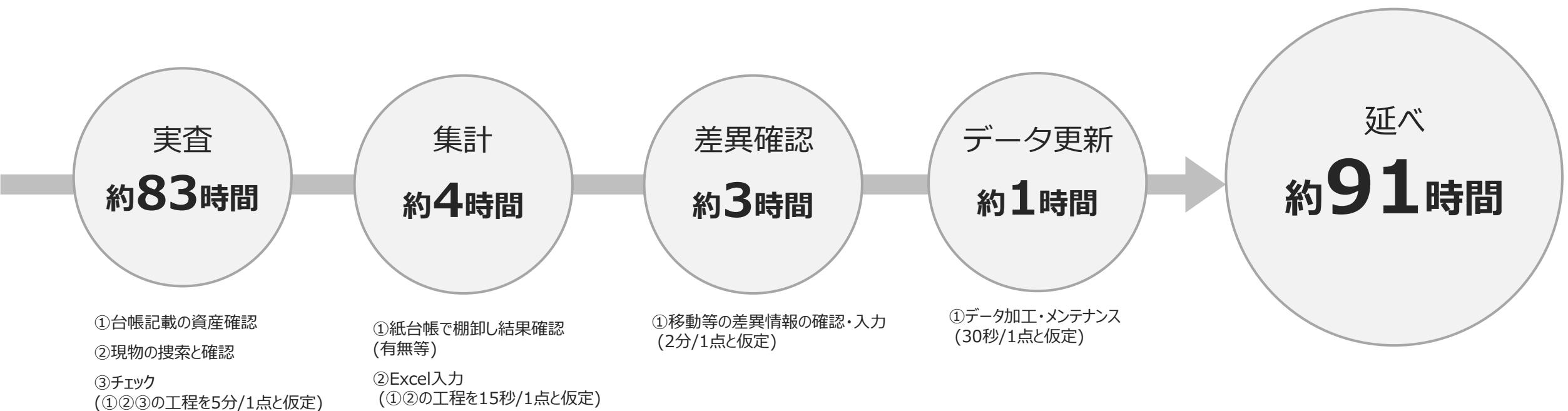


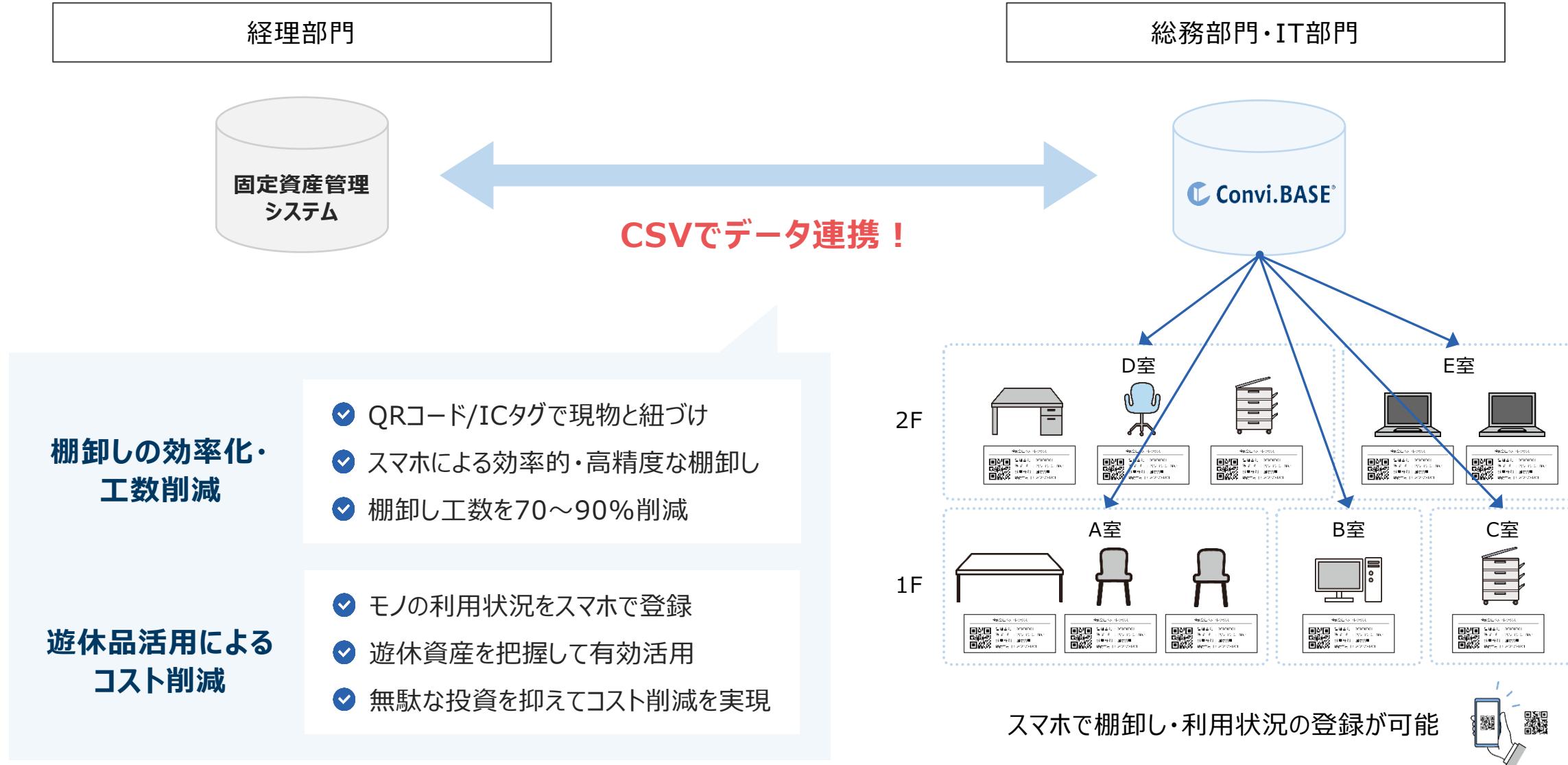
- ・棚卸し結果を集計
- ・会計システムと突合・データ更新

※前提条件

- ・棚卸し対象資産数：1,000点
- ・対象フロア：5フロア

- ・対象拠点：1拠点
- ・資産移動率：10%





目視棚卸し の場合



Convi.BASE の場合



比較項目	目視棚卸し	Convi.BASE棚卸し
実査	約83時間 ①台帳記載の資産確認 ②現物の検索と確認 ③チェック（①②③の工程を5分/1点と仮定）	約17時間 ①スマホで読み取りフロア指定（1分と仮定） ②QRコードラベル読み取り（1分/1点と仮定）
集計	約4時間 ①紙台帳で棚卸し結果確認（有無等） ②Excel入力（①②の工程を15秒/1点と仮定）	約1分 ①Convi.BASEへ棚卸し結果送信
差異確認	約3時間 ①移動等の差異情報の確認・入力（2分/1点と仮定）	約2時間 ①差分チェックリスト自動生成（約1分） ②差異（移動）情報の確認（1分/1点と仮定）
データ更新	約1時間 ①データ加工・メンテナンス（30秒/1点と仮定）	約1分 ①自動更新（移動履歴自動保存）
	延べ 約91時間	延べ 約19時間



データ連携は、

- ① 固定資産管理システム から Convi.BASE
- ② Convi.BASE から 固定資産管理システム

連携パターン1

固定資産管理システム → Convi.BASE

固定資産管理システム から **Convi.BASE** へ連携する場合



固定資産管理システムからエクスポートしたCSVファイルを
そのままConvi.BASEにインポートできます。

連携パターン2

Convi.BASE → 固定資産管理システム

Convi.BASE から 固定資産管理システム へ連携する場合



Convi.BASEからCSVファイルをエクスポートして、
固定資産管理システムにインポートします。

Convi.BASE から 固定資産管理システム へ連携する場合

Convi.BASEで物品データを登録した後に、固定資産管理番号を登録して紐づけます。

管理番号	物品名	資産種別	建物	フロア	取得年月日	固定資産管理番号
00000001	ノートパソコン	固定資産	東京本社	06F	2024/10/01	202410-001
00000002	ノートパソコン	固定資産	東京本社	06F	2024/10/01	202410-002
00000003	ノートパソコン	固定資産	東京本社	06F	2024/10/01	202410-003
00000004	ノートパソコン	固定資産	東京本社	06F	2024/10/01	202410-004

物品データを新規追加する際に登録

固定資産管理システムとデータ連携する際に登録



「固定資産管理システム」と「Convi.BASE」を連携すると、
棚卸しのタイミングでデータと現物が一致する

棚卸しを効率化し、台帳管理の精度も向上します！



お問い合わせ

株式会社コンビベース
営業部 マーケティンググループ



03-5643-6743



cb-info@convibase.co.jp